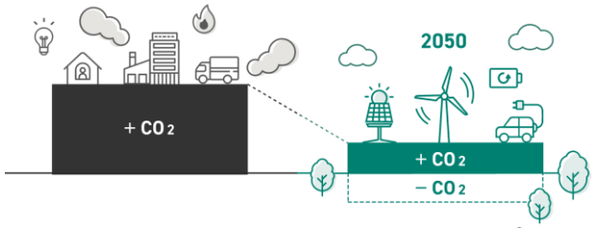
橿原市環境総合計画（案）の策定について

1.背景

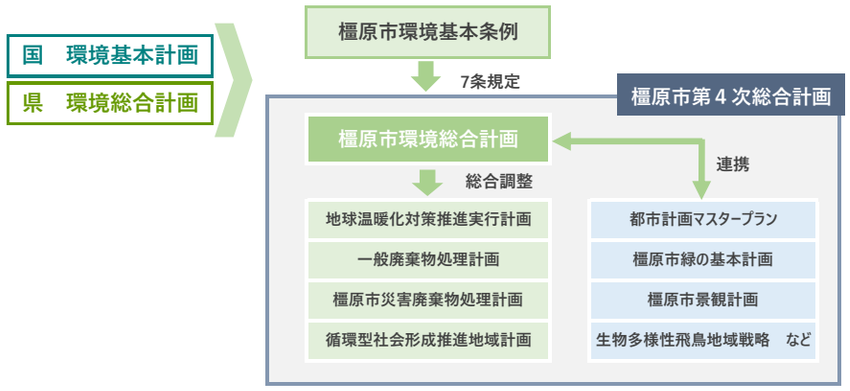
橿原市環境総合計画は、市の環境政策の方向性を示す基本計画として平成25年3月に策定しましたが、今年度が計画の最終年度であり、計画の更新時期が迫っています。
また、この10年間、SDGs、脱炭素、海洋プラスチック問題など環境・社会情勢も大きく移り変わっています。



出典　環境省脱炭素ポータル

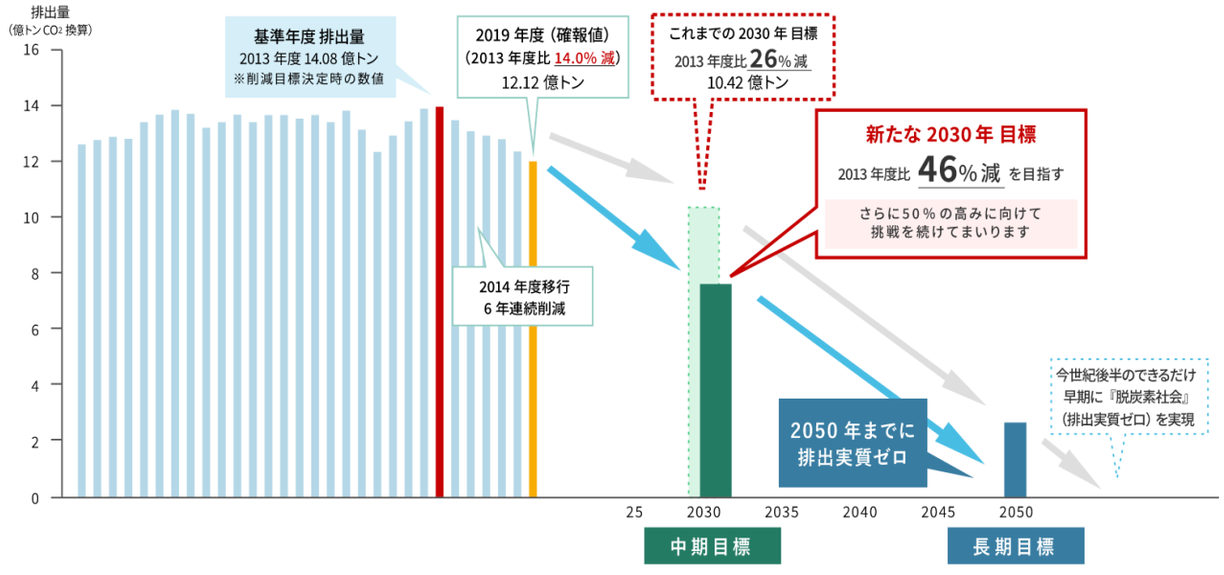
2. 計画の位置づけ

環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための地球温暖化への対策を含めた環境についての基本的かつ総合的な計画（橿原市環境基本条例第７条）。



3.期間

政府が温室効果ガスの削減目標の達成年度を2030年度としたことから、計画期間を令和5年度から令和12年度までの8年間に設定。



出典　環境省脱炭素地域づくり支援サイト

4. 特徴

1 近年の環境問題への対応

廃棄物、水質保全、騒音、悪臭、振動等従来からの課題に加え、気候変動、海洋プラスチックごみ、食品ロス等近年の環境問題にも対応。

2 指標との整合性

各計画は改定（更新）時期にばらつきがあるため、政策の指標等詳細については、個別計画等で設定。

脱炭素社会の構築と気候変動への適応	橿原市地球温暖化対策推進実行計画
循環型社会の促進	ごみ処理基本計画（一般廃棄物処理計画）
快適な生活環境と自然・歴史遺産との調和	生活排水処理基本計画（一般廃棄物処理計画）生物多様性飛鳥地域戦略
環境活動、環境学習の増進	ホームページ閲覧数 環境講座参加者数

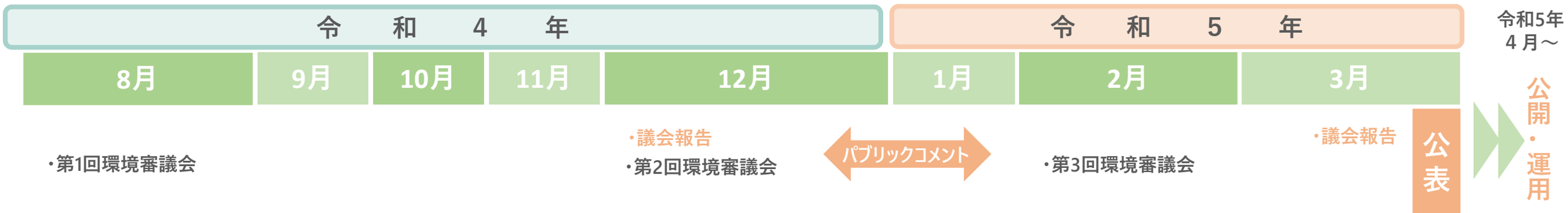
3 デジタル化への対応

・オンライン化、ペーパーレス化等業務の推進。

・環境啓発のデジタル化。

かしはらごみ分別アプリ

5.施策体系

基本目標	施策	取　組	関連するSDGsのゴール
脱炭素社会の構築と気候変動への適応	地球温暖化対策の推進	①省エネルギー行動等の促進 ②市役所における地球温暖化対策の推進	
	再生可能エネルギー等の利用拡大	①再生可能エネルギー等の普及・啓発 ②ごみ焼却施設における再生可能エネルギー等の推進	
	気候変動への適応	①自然災害へのリスク軽減 ②健康への影響に関する対策の推進	
循環型社会の促進	4 Rの推進	①４R普及・啓発 ②資源回収の推進	
	廃棄物の適正処理の推進	①安定的なごみ処理体制の確保 ②計画的な処理施設の整備	
	近年の課題への対応	①災害廃棄物の処理体制の確保 ②プラスチックごみ、食品ロス等に関する普及・啓発	
快適な生活環境と自然・歴史遺産との調和	安全な生活環境の確保	①水質の環境基準の維持 ②騒音、振動、悪臭の環境基準の維持	
	自然・歴史遺産との調和	①河川清掃活動、美化活動の推進 ②歴史景観保護のための規制	
	生物多様性への対応	①生物多様性の保全活動の推進	
環境活動、環境学習の増進	環境活動の促進	①環境実践活動の推進 ②環境啓発のデジタル化の推進	
	環境学習の推進	①学校における環境教育の推進 ②市民等の環境学習の推進	

6.策定スケジュール